



港区立高松中学校 学校だより<第6号>

令和3年10月6日 校長 鈿持 利行

創立1949年(昭和24年)

<高松中生のあたりまえ>推進校

港区高輪1-16-25

9月の授業を振り返って

副校長 鈴木 格也

10月1日をもって、緊急事態宣言が解除されました。しかし、新型コロナウイルスとその変異株における感染症が収まったことではないので、安心して過ごす訳にはいきません。新聞やテレビでの報道を見ると、外出されている人が以前よりも増している様子があり、リバウンドが心配されます。学校では、引き続きマスクの着用、アルコール消毒、三密対策、学校施設の消毒作業等を行い、予防対策に努めます。

さて、学校での授業は、10月1日より従来通りの生徒と先生が対面で行う授業形態を進めております。できる感染対策を行ってはいますが、それでも生徒が集まったの対面授業について、不安に思う保護者の方もいらっしゃるかと思います。9月の授業を振り返ると、6日からは教室での対面と自宅でのオンラインを組み合わせた授業を行いました。先生は対面授業とオンライン授業の両方を進めるために、事前にTeamsを使って、時間割通りに生徒が授業に参加できるようにするための設定を毎日行ったり、配信用タブレットを置く臨時の土台を教室に準備したり、授業で使うプリントの印刷とホームページへのアップ作業を行うなど、9月の最初の週はいつも以上に動き回る日々でした。実際のオンライン授業がスタートすると、学習用ipadを使ってオンライン授業が見られない、授業で使っている資料が欲しいとの電話連絡が入り、授業を行っている裏ではその対応のため、職員室から教室に上がって、タブレットの設定確認と変更に追われました。なんで上手くつながらないのか、先生も初めて取り組むことであったため、ノウハウがなく、やってみて分かることが多くありました。学習塾に通う生徒であれば、オンライン授業と聞くと、映像を通した双方向での会話のやり取りを想像した生徒も多くいたことと思います。授業をする先生全員が、対面生徒とオンライン生徒の両者の学習状況を確認したり、発問させたり、質問に応じたりする授業の進め方は、なかなか難しい様子がありました。

令和元年12月に、文部科学省から「GIGA スクール構想の実現」に向けた指針が示され、その後、学校情報化に向けて1人1台の情報端末が配備され、個別最適化された学びの実現を目標としています。また、令和2年度には、東京都教育委員会から「TOKYO スマート・スクール・プロジェクト」の推進が示され、学び方・教え方・働き方の三大改革を推進しています。こうした流れの中で、学校には情報端末(学習用ipad)をフル活用できるためのリテラシーを生徒・保護者・先生が向上させて、目標を達成できるようにすることが求められています。学校では、日々の授業の場面で、学習用ipadを活用する機会を増やして実践することや、授業準備をする機会を通して、活用するための知識・能力を深めているところです。

10月

4日(月) 中間考査
5日(火) 中間考査 給食ナシ
11日(月)~15日(金)
学校公開週間
朝のあいさつ運動
14日(木) 生徒会役員選挙
立会演説会・投票日
15日(金) 第2回 進路説明会
18日(月) 前期専門委員会
19日(火) 前期中央委員会
28日(木) 後期専門委員会
30日(土) お休み
合唱コンが、3月11日(金)に
延期となったため、お休みです。

～ 街にホップを育てよう！ ホップ酵母を使ったパンづくり～

ホップ酵母を使ったパンづくりにガーデニング部の生徒が挑戦しました。

9月17日(金)、部員とその保護者の方が白金台にある『MuSuBu』(ポップアップイベントスペース)に集り、講師の先生に指導を受けながら、学校で栽培し、収穫した『ホップ』を使って、「蒸しパン」・「チュロス」・「苺とホップのカップケーキ」をつくりました。みんなで楽しいひと時となりました。



～ 3年英語スピーキングテスト ～

9月25日(土)、3年生が英語スピーキングテスト「ESAT-J」を受けました。このESAT-Jは確認プレテストとして、都内公立中学校の全3年生を対象に実施しました。現在の2年生からは、ESAT-Jを外部の会場で受験し、その結果は都立高等学校入学者選抜において、英語4技能のうち「話すこと」の能力を見る際に活用されます。



～ 2年職業講話 ～

10月1日(金)、2年生の総合的な学習の時間に、進路学習の一環として『職業講話』を実施しました。今回は、本校の修学旅行を担当していただいている(株)JTBの方をゲストティーチャーとしてお招きして、お話を伺いました。

